

『関西学院大学心理科学実践』 発刊によせて

関西学院大学文学部心理科学実践センター

センター長 米山 直樹

本誌『関西学院大学心理科学実践』は、2019年度に開設した文学部附属の施設である心理科学実践センターのセンター紀要として新たに発刊したものである。文学部総合心理科学科には既に『臨床教育心理学研究』から発展した『関西学院大学心理科学研究』が発刊されており、本誌が2冊目の紀要となる。『心理科学研究』誌が広く基礎心理学から応用心理学、臨床心理学を網羅した内容の論文の掲載を目的としたものであるのに対して、本誌『心理科学実践』は“実践”を重視し、応用・臨床的な実践にかかわるものを中心に掲載することを目的としている。また、センターの年次報告書としての意味合いもあり、センターの活動にかかわる彙報などを掲載していく予定である。

関西学院大学文学部総合心理科学科では、各研究室が所有するプレイルームや相談室を除き、受付や待合室などを有した臨床心理学的サービスを提供したり実習を行なったりするための本格的な施設がこれまでなかった。しかし国家資格である公認心理師資格の誕生により、本学でも資格取得を目指したカリキュラム整備や実習施設の開拓などが急務となり、その一環として本センターも開設された。しかし、本センターの目的はそうした院生を対象とした公認心理師養成のための臨床実習を行なうだけでなく、広く地域に心理学的なサービスを提供するとともに、新たな臨床心理学的知見を得るための研究も行なうこととなっている。本誌がそうした臨床実践の成果や臨床研究の知見を広く公表するための媒体として活用されていくことが望まれる。